

57 ムシロガイ

(オリイレヨフバイ科)

兵庫県ランク:B

Niotha livescens

環境省ランク:NT

種の概要

大槌湾から九州に分布。低潮帯から潮下帯にかけて砂質干潟や岩礁の岩盤間などの砂泥底に生息。特にアマモ場に多い。腐肉食性。殻長20mm程度。殻は太い紡錘形で体層はよく膨れ、殻表は太い縦肋が細かい螺溝で切られムシロ状の顆粒列になっている。殻色は紫がかった濃褐色で薄い殻皮で覆われる。足の後端突起は2本。蓋は革質で茶色。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○				○			○

県内分布

姫路市、たつの市、洲本市、南あわじ市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

AからBに変更。かつては淡路島各地の海岸で打ち上げにより死貝が得られていたが、近年、中部の内湾アマモ場で生貝が確認され、生息地や個体数の増加が見られる。また、中部西岸のアマモ場から新鮮な死貝が得られるようになった。播磨西部ではときに新鮮な死貝が得られるが、多くは古い死貝であり生貝は近年確認できていない。

保護上の留意点

淡路島では、アマモ等の生育する内湾干潟や前浜干潟を保全する。播磨地域では生貝が確認できないが、細砂の前浜海岸の保全や造成により、復活すると考えられる。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋



【執筆者】 川渕千尋